

教師ノート

日付	2022年10月 2日
単元	創世記・3
テーマ	神さまに信頼して従う
タイトル	アブラハムの出発
テキスト	創世記 12:1-8
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ヘブル 11:8
AG 日曜学校教案参照箇所	小下 2 巻 1 題 7 課
メモ(情報・例話など)	<p>今週のメッセージは、子ども達にとって未知の世界へのお出発です。神だけを信じ頼り、一歩踏み出していくチャレンジの時ともなります。それゆえに、神の愛と救いの計画について、教師がはっきりとしたイメージを持って語っていくことが大切です。暗いメッセージになったり、知らない世界に連れて行く怖い神のイメージだけが印象に残ったりしないように心がけましょう。神は子ども達を愛され、一人一人に素晴らしい将来と希望の計画をもっていることを強調しましょう。</p> <p>□導入 興味を起こす質問をしましょう。 今回のテキスト内容は「神様に信頼して従う」ということがテーマになっています。そこで例話は「この後の話はどうなるの?」といった、未知の世界に対する期待感を持たせることで、興味を起こさせることを目的としています。</p> <p>□ポイント1 神様はアブラムに、神様を信用して従いなさい(ついてきなさい)といわれました。(1節) 神はアブラムに「あなたの土地・親族・家を離れて、私が示す地に行きなさい」と言われました。あなたも住み慣れた場所や親しい親族から離れて知らない土地に行くことを想像してみてください。簡単なことではありません。しかも、このとき行き先はまだはっきりわかりませんでした。多くの財産(羊などの家畜)を持っていたアブラムにとって、とても難しい決断であったはずですが。</p> <p>☞今日の箇所は12章から始まっていますが、実際は11章の31節から始まっています。(教師はよく読んでおきましょう。)低学年がいる場合は、ウルからの話になると混乱しますので、ハランからの出発とするのが分かりやすくよいでしょう。アブラムは、ハランにしばらく定住しました。そこでもアブラムは祝福を受けて繁栄し、多くの財産を設けました(5節より)。創世記11章では、父テラが神に声をかけられたようにありますが、使徒7:2-3から、実際にはアブラムに声をかけられていたことがわかります。小学校上級生や中学生の場合は、現在もある歴史的建造物(ジグurat遺跡)の地としても紹介すると興味を持つでしょう。(聖書辞典参照)</p> <p>☞アブラムの旅路(肥沃な三日月地帯)をつかってスゴロクを作ると楽しめます。低学年用と高学年用とがあると良いでしょう。内容は先生の工夫次第です。アブラムの決断がどれほどすごいものだったのか、子どもも大人も良く分かります。</p> <p>□ポイント2 神はアブラムに特別な計画と祝福を用意していました。(2-5) それでもアブラムは神の声に従い父親と住んだ家を離れる決断をしました。それは、自分の思いの通りではなく、神さまの思いに従う決心をしたということです。アブラムは神を信頼して従ったのです。神はアブラムが示す地に行くなら、素晴らしい祝福を与えることを約束しました。それはアブラムの家族(子孫)から、真の神を信じる素晴らしい国と民族を、新しい場所(カナン)で作る約束でした。(2節) またア</p>

ブラムだけではなく、彼の友となる全ての人が、祝福される約束をもってくださいました。(3節) アブラムは神の権威によって、地上の全ての民族人々に祝福を運ぶ人として選ばれたのです。

その約束の後に、アブラムはすべての持ち物をまとめ、彼の家族と僕たち、甥のロト(ロトの家族と持ち物や僕たちは、アブラムとまた別にありました。)をつれて神の示す地に出発したのです。この時アブラムは75歳でした。この時点でもアブラムはどこに行くのかまだよく分かっていませんでした。このことからアブラムが本当に信仰によってのみ出発したことがわかります。(ヘブル11:8も参照)

㊦ 暗唱聖句(ヘブル11:8)には、「どこに行くのかを知らないで」とありますが、実際は「カナンの地に行こうとして出発した。」(創世記12:5)とあります。つまり、彼らはカナン方面に行くことは分かっていた。しかし、カナンは一人の人間(アブラム)には大きすぎるため、具体的にどこが神様に示された土地なのか分からずに出発したようです。カナンは、アブラム一人のためにあるのではなく、未来に誕生する神の選民であるイスラエル民族が相続する土地なのです。そして、そのイスラエル民族から救い主イエス・キリストが誕生するのです。

㊦ 理解力が深くなっている上級生や中学生には、アブラムの祝福と自分たちとの関係を話すと良いでしょう。アブラムの祝福は、イスラエル民族の誕生からイエス様の誕生につながり、イエス様の誕生は私達の救いにつながっていることを教えます。このことにより、アブラムの決断したことの重要さと自分との関わりが見えてくるでしょう。また、時に一人の信仰者の決断(神様に従う)が、大きな未来の祝福につながることを教えると良いでしょう。

□ポイント3 アブラムは約束された地カナンに着きました。(5-8)

アブラムたちはハランから、500キロ以上の旅をしてカナンにつきました。当時は交通も発展していなかったため、75歳のアブラムには決して楽な旅ではなかったはずですが、どこへ行くのかさえわからなくても神を信じて旅してきたアブラムに、神はこの地全てがアブラムとその子孫が相続する土地であることを教えました。(当時カナンには、異教のカナン人が住んでいました。)アブラムはすぐその場所に、神を礼拝する祭壇を作りました。アブラムは自分に現れてくれた神に感謝せずにはいられなかったのでしょうか。その後、アブラムはベテルの東にある山のほうに移り、初めてのテントの家を建てました。アブラムはそこでも、神のために祭壇を作りました。そして、主の御名によって祈りをささげたのです。

□結論 神は約束を必ず守ってくださいのお方です。アブラムはその神に心から感謝をして祭壇を作り、これからは神を信じて従いますとお祈りをして礼拝をささげたのです。

暗唱聖句を読み上げます

□適用(聞き手にもっとも相応しい適用が与えら得るように祈りましょう。)

1) 神様は、君にも素晴らしい計画と祝福を用意しています。ですから、神様が「行きなさい」「しなさい」と言われたら、それに従ってみましょう。例えば「両親に従いなさい」「相手を赦しなさい」というみことばも、それに従う結果(行き先)がはっきりわからないかも知れません。しかし、神さまはあなたを祝福するために、そう言っているのだと、信頼して従いましょう。結果が見えてから従うのではなく、わからなくても従うのが信仰です。信じて従いますと心できめる時、神様は素晴らしいことをしてくださるのです。

2) 皆の中に聖書に書いてあることが「難しい、無理、できない」とあきらめている人はいませんか。確かに、自分の力だけでやろうと思うと、無理かもしれませんね。でも、アブラムを祝福して助けてくださったように、神様は必ず君を助けてくださいます。まず君が難しいと思うことを素直に神様に祈ろう。そして、助けてくださいと祈りましょう。

3) 君が今日、神様を信じて従う決心したことは素晴らしいことです。何故ならアブラムの決心が私たちへの祝福になったように、あなたの決心も神様は喜んでくださり祝福してくださるからです。君の祝福される姿を他の人が見るとき、私も祝福されたい、お祈りしたい、神様に従おうと、神様を信じたいと思うようになるからです。君が決心して祝福される時、周りの人も祝福されるのですよ。